

- ・断続的ではあるものの、7年間運転を行った（設置からは8年経過）実証施設について、各部材の外観目視、板厚測定、断面観察を実施し、経年劣化状況を把握するとともに、耐用年数延伸の可能性等について検討を実施。
- ・一部、長期運転停止の影響により腐食した箇所は見られたものの、設備の強度に影響するような劣化は見られなかった。
- ・仮定に基づき、図面上の厚さや板厚測定の結果から算出した値であり、そのまま耐用年数延伸の評価につながるものではないものの、いずれの設備についても、板厚が設計値の1/2になるまでの年数は数十年程度という結果となった。